

名古屋丸の内ロータリークラブ

Weekly Report

例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000
 例会日時 木曜日 12:30
 クラブ会報 報委員長 田中 如以
 HP <http://rc.nagoya-seinan.org/>

2017-18年度 RIテーマ
 会長 イアンHS.ライズリー



承認 1995.3.28
 会長 田島 陽介
 幹事 武山 卓史
 事務局 名古屋市中区栄3-29-1
 名古屋クレストンホテル 1007号
 TEL 052-263-1324
 FAX 052-263-0730
 Email seinar1@fancy.ocn.ne.jp

田島陽介会長 年度目標 : より強いクラブへ!

第1064回 例会 No. 22 平成30年1月25日(木)

職場見学＝森永乳業中京工場＝

- ロータリーソング
- 出席報告 会員46名中13名出席
- 出席率 30.23% 出席計算人数43名
- 修正出席率 1月11日 95.24%
- ゲスト 加藤 豊さんご夫人

職場見学行程

- 8:45 集合 栄 テレビ塔北側駐車場
- 9:00 出発
- 9:50 森永乳業 中京工場 着 見学
- 11:30 工場出発
- 12:00 犬山ローレイ麦酒館(ランチ)
- 13:20 犬山城・城下町(散策・観光)
- 15:00 犬山出発
- 16:00 名古屋 着 解散

第1063回 例会 No. 21 平成30年1月18日(木)

社会奉仕チャリティ例会 於名古屋クレストンホテル 18:30

- ロータリーソング 「我等の生業」「四つのテスト」
- 出席報告 会員46名中18名出席
- 出席率 42.86% 出席計算人数42名
- 修正出席率 1月4日 休会
- ゲスト Make a Wish of Japan 原 順子様
- ビジター 豊田西 RC 太田力さん以下 18名 (同日サイン受付)

会長挨拶 会長エレクト 矢野雄嗣

みなさん、こんばんは。
 今日、田島会長がカンボジアから帰る日ということで、私がお挨拶をさせていただきます。
 今年もメイクアウィッシュの原順子さんにわざわざお越しいただきましてありがとうございます。また皆様からは沢山のオークションの御商品をいただきまして、本当にありがとうございます。出席メンバーは非常に少ないですが、物は一杯あるそうなので、逆に落とす方が大変だなと。皆持って帰るがどうやって帰るのかなという感じでありませう。メイクアウィッシュへの支援は社会奉仕委員会の継続事業ですが、もともとは松尾さんの紹介で始めておりまして、継続的にやって行くということがロータリーの中では、あんまり良くないみたいな話もちらほら言われ

ておりますけれども、こうやって続けて行くということはやはりとても大事な事なんじゃないかなあと思います。またカンボジアについても、もう何年もやってます。僕も2回くらい行ってまいりました。向こうの状況も、行く度行く度に色々変わってきておりますが、行くとやっぱり先輩方が、私の父親も含めまして数々の歴史も刻んでおりますのでね。そういうのもやっぱり継続的に続けて行って、現地の人達と強く交流を持って行くということは、ロータリーにとっては、実はホントはとても大事な事なんじゃないかなあ、という風に思っております。
 どちらにしても、今日はたくさんの商品がありますので、みなさんたくさん持ち帰る時は大変だと思いますけど、しっかりと少ないながらも沢山のお金を落として頂いて、また、病気の子どもの方の夢を少しでも叶えられるように、応援して頂けるとありがたいです。本日もどうぞよろしくお願い致します。

ニコBOX

上野さん もう錦でジャンパンはおろしません。アフターはしません。
 ●本日はメイクアウィッシュオブジャパンの活動を支援するチャリティ例会です。どうぞ宜しくお願い致します。また、メイクアウィッシュの原 順子様、ようこそお越し下さいました。会員一同心より歓迎申し上げます。
武山幹事、岩田、堀江俊通、大橋、西川、森田、後藤、安藤、長谷川、渡邊、加藤、宮崎、古川、今村、矢野
 (敬称略)

本日合計 35,000円

米山功労者表彰

岩田宏さんより米山奨学会の寄付を頂き、感謝状が届きましたので贈呈致しました。



Make a Wish of Japan 活動紹介

メイクアウィッシュオブジャパン 原 順子

今日も貴重なお時間をありがとうございます。

Make a wish の事をずっと継続的にご支援いただいていること心から感謝しております。

昨年も全国で200名以上の難病と闘う子供たち、wishchild の夢の実現をお手伝いさせていただきました。名古屋支部では37名お手伝いさせていただきました。過去3年間、東京本部に次いで多くのお子さんの夢の実現をお手伝いさせて頂いています。

なので、まだまだ知られてないとは言え、東海地区でも知られてきて、病院とか先生方ご理解があつて知名度も上がってきたんですけれども、その分やはり沢山の wishchild の夢の実現のお手伝いをするには、沢山の夢の応援団の皆さんの力を必要としています。名古屋丸の内ロータリークラブの皆様には、もうずっと支援して頂いているので、心から感謝しております。

私も日々活動しております、やはり Make a wish の活動というのは必要な活動だなということを感じております。難病と闘って厳しい状況と言われても、夢が叶って奇跡的に病気が治った、元気になった、小学校に行った、受験をすることが出来て進学も出来た、そういう嬉しいご報告も頂いています。そのためにも、本当に夢の実現というのは必要な事なんだなあと感じております。

それでも、本人も家族も先生方も頑張ってもやはりお星さまになってしまうお子さんもいます。でも、やはりそういう子供たちの為にも Make a wish の活動が必要なんだなと言うのを感じた事があるのですが、その一人の男の子のお話をさせていただきます。昨年、彼の夢を叶えるお手伝いをさせていただきました。ディズニーランドに行きたいと言う夢の実現で、小学校の高学年で、3年間闘病生活を続けていて、もうずっと長い間入院しているお子さんです。体調もちょっと今いちだったけれどもともかく、夢の実現はお手伝いさせて頂けて、笑顔で帰ってきていただきました。お手伝いさせていただけて良かったなあ、と思っておりました。

そうしたらしばらく経ってから、お父様からお電話をいただきました。

「2週間前に息子が天に召されました。本当に Make a wish さんの夢の実現でお世話になったので、夢の叶った時の写真をフォトブックにしたので、ぜひ見て頂きたいので、お持ちします。」と、わざわざ事務局に来ていただきました。

でも、私ちょっとびっくりしたんですね、え？2週間前に？と思って、まだお気持ち的にどうなんだろうと思ったんです。そうしたらご両親揃って来てくださって、作成して出来上がったから直ぐにお持ちしました、ということで立派なフォトブックを持ってきてくださいました。

ご両親は、その wishchild が亡くなってから、ずーっと写真を整理されていまして。もうお葬式も終わったあとに、赤ちゃんの頃からの写真を整理していて、闘病生活が始まってから、勿論外泊でちょっとおうちに帰った時の写真とか、ちょっとでも外に行ったり、温泉に行ったり、旅行に行ったりと色んな写真もあったんだけど、病気にな

ってからの写真がずっと笑顔じゃなかった。笑顔がなかった。でも、Make a wish で夢が叶った時の、ディズニーランドに行った時の写真が全部笑顔だったんです。その時だけが笑顔だったんです。ということで、ご両親はあの時の笑顔があつたね。あの時は本当に楽しかったね。ということで、フォトブックにして、それで持ってきてくださったんですね。その後、暮れにもおあいしたのですが、ご両親もつくづくおっしゃっていました。

やはり落ち着いてみて考えても、闘病生活の間は、息子はずっと辛い顔でだった。写真もずっと辛い写真だった。だけど、やはりあの時の夢の実現の笑顔があつたから、息子が天に召されたのは、寂しくて悲しいことだけれど、夢の実現があつて良かったねと、私たちは、闘病生活の事も息子の事も言葉にも出せるし、思い出すことが出来る。ご兄弟もあの夢の実現が無かったら、おにいちゃんのおいしは、ベッドに横たわっているだけ、外泊でおうちに帰ってきてもしんどそうな顔、そのままだったと思うけれど、ディズニーランドにのちで共に笑った、あの時間があるから、と、やはり元気を取り戻して今はクラブ活動頑張っているそうです。やはり、やっぱり夢が叶って健康になってくれたら、勿論それは一番うれしいんだけど、やはり残念ながら、天に召されちゃう、お星さまになっちゃう wishchild。だけど、その wishchild にとっても、夢の実現は大切な事。そしてご両親ご兄弟にとってもそれは大切な事なんだなあ、と思っています。なので、本当に私たちの活動を沢山の子どもたちがまだまだ必要としています。これからも、名古屋支部のお子さんは増え続けると思います。なので、本当に夢の応援団の皆さんのお力が必要です。名古屋丸の内ロータリークラブの皆様には、心から感謝しております。

どうぞ、wishchild の笑顔の為に ご支援をいただければ、夢の応援団としてお励ましをいただければと思います。今日も本当に貴重なお時間をありがとうございます。



このあと、恒例のチャリティが開催されましたのでご報告いたします。

チャリティ収益金 196,000 円

出席数が少ない中、多大なご協力に感謝致します。

収益金の内、10万円を名古屋聾学校支援に、残りの96,000円を社会奉仕委員会支援金の10万円とともに夢の応援団として寄付致しました。

社会奉仕委員長 後藤 徹